

# 会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回上尾市環境審議会部会	
開催日時	令和5年6月30日(金) 16時00分～17時00分	
開催場所	上尾市役所行政棟7階 大会議室	
議長(委員長・部会長)氏名	磐田 朋子 (部会長)	
出席者(委員)氏名	<b>【委員】</b> 小川 早枝子、安田 信一、田中 充、前 真之、吉田 彬、 矢田部 隆志 以上7名	
欠席者(委員)氏名		
事務局(庶務担当)	<b>【上尾市】</b> 環境政策課 田中課長、櫻井副主幹、重田主任、橋本主任 <b>【東京電力パワーグリッド株式会社】</b> 埼玉総支社 田山 雄平、鈴木 清司、星野 政雄 <b>【株式会社 知識経営研究所】</b> 中平 貴之、松田 愛久美	
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果
	(1) 開会 (2) 部会長・副部会長の選出 (3) 議題 ①脱炭素化に向けた施策について (4) その他 (5) 閉会	① 当部会の意見をもとに事務局側 で施策案等について調整・検討
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 1 名
会議資料	(1) 令和5年度第1回上尾市環境審議会部会 次第 (2) 脱炭素化に向けた施策について (3) 市民向け施策について (4) 事業所向け施策について (5) 行政の施策について	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 2023年11月14日		
	議長(委員長・部会長)の署名	_____ 磐田 朋子
	議長に代わる者の署名 (議長が欠けたときのみ)	_____

## 議事の経過

### 議事① 脱炭素化に向けた施策について

→当部会の意見をもとに事務局側で施策案等について調整・検討

#### 《議事要旨》

- 事務局から全体の施策案及び実施主体別の施策案を提示。
- 今回の施策案について、環境基本計画等の既存施策との関連性が確認できないという意見があった。
- 部会としてはまず計画論に関する議論を行う。既存の計画と齟齬がない形で目指すべき方向性を検討したのち、個別の施策内容について議論を進める。

#### 《質疑応答》

発言者	議題・発言内容・決定事項
部会長	施策案の検討に関して部会に求められているもの、部会の役割を教えてください。
事務局	実際の事業化に向けて事務局から事業メニュー案を提示するため、その実現可能性についてご意見をいただきたい。また新たな取組みに向けて必要な内容があればご提案いただきたい。
田中委員	<p>1点目であるが、論議の優先順位をつけたほうがいいのではないかと。論議の順番を検討したほうがよろしいと考える。事業メニューの内容よりも、計画論を先に議論したほうがいいのではないかと。</p> <p>また昨年検討されたシナリオ検討で目標と大きな施策は検討されているので、環境基本計画に落とし込んだ場合に環境基本計画との齟齬がないかなどの検証も必要である。2030年度までの温室効果ガスの削減目標も46%でいいかどうか、再検証が必要と思われる。</p> <p>2点目として事業メニューの実行可能性を部会で検討するという点について。部会にとって事業実施にあたりどのような制約があるのか不明確な部分があり、判断が難しい可能性がある。部会としては、全体の枠組みを想定していくという役割のほうが重要ではないか。個別事業の実効性に関する検討は、庁内WG（環境政策推進会議担当者検討会）で精査していただくほうがよいと考える。</p> <p>3点目だが、事業者メニューを選定することで、実際に事業を実施する事業者が候補として挙がってくる流れになると想定している。事業者の状況に応じ、戦略性を持って事業者を選定し補助対象とする形になるのではないかと。全ての案を提示しその中から対象を選定するというのではなく、あらかじめ戦略性を持って事業者等にヒアリングを行い、事業メニューを決めていくということになるのではないかと。</p> <p>そのため事業メニューを作成するという内容と実行計画の区域施策編を策定するという内容の間には距離があると感じている。事業メニュー作</p>

	<p>成においては、事前に準備しておくことは必要であるが、補助金申請に近い時期に、実際の境界条件や制約条件を踏まえて作成をすることが望ましい。</p> <p>4点目だが、部会は原則非公開ということで、現在は審議会委員が傍聴できないこととされている。審議会委員が審議に入るかどうかは別としても、委員も部会の傍聴を可とすることはいかがか。審議会委員には職務上守秘義務があることから、問題はないと考える。</p>
矢田部委員	<p>上尾は住宅が多いと思っている。住宅の中で最も直接CO2排出量の多い所への設備導入をしたほうがいいのではないかと。行動変容もいいけれども、設備導入は重要だろうと思う。その際には設備導入のやり方と手段を分けて考える必要がある。例えば、太陽光発電を入れるということばかり中心になっているが、太陽光発電とおひさまエコキュートで自家発・自家消費はこうやったらいいということを示した上で手段を示す。導入手法は購入だけではなくレンタルも対象とするなどが考えられる。</p> <p>別の例となるが電気自動車の活用に関しては、経費のかかるV2Hの取組よりは電気自動車の普及を重点的に進めるという案も考えられる。EVを普及させることで自家消費型の太陽光発電設備導入も併せて加速され、さらにはV2Hの普及につなげていくなど、段階的な設備導入が可能な施策が望ましい。そういうところを促すところに行動変容を入れていければと思う。</p> <p>工業団地においては、化石燃料の使用量を削減することが効果的である。その中で費用対効果が高いものを重点的に行っていくなどを検討できる。</p> <p>マイクログリッド事業については、特定送配電事業の実施が可能な事業者等が誰なのか、ヒアリングを行うなども検討項目である。</p>
小川委員	<p>今回の重点プロジェクト（施策）案には環境基本計画の内容が生かされていない。例えば特別緑地保全地域に対しての影響が考慮されていない。環境教育に関しても、子ども向けとされている必要性が不明確である。</p>
部会長	<p>本部会では個別の事業内容よりは、全体の計画の中で齟齬がない内容となっているか議論したほうが良い。</p>
吉田委員	<p>事業所向け施策と行政の施策には具体性があると感じている。</p> <p>市民側からの意見を受け止めた上でナッジが必要だと考えたのか、そういうのがないから必要だと思ったのか。現在の案をみると全方位に向いているメニューのような印象を受ける。本案の中で上尾市においてはどの内容を対象にするのか、そしてその意思決定権者はどこなのか。</p> <p>また本施策が対象とする事業者とは誰を想定しているのか。</p> <p>行政から脱行政をして、合同会社を作って事業を行う事業者はありえるのか。</p>
事務局	<p>市民向けの施策「知る」については、これまでHPやSNSなどによる発信しかしてこなかった。そのためなにかアクションを起こしていきたいという考えがある。より積極的に普及啓発を進めていきたいという点で提示している。</p> <p>ゼロカーボンシティの実現に向けて、新たな提案を出せていない状況である。基礎調査を実施した上で現在の施策案を提示している段階であり、具体的に何を実施するのかはまだ見出せていない。何をやるのか見えていないことが一番の要因だとは思っている。庁内WG（環境政策推進会議担当者検討会）でも現状を脱するための提案が得られていない。</p>

	<p>事業者とは既存事業者を想定しており、本事業に基づき新たに会社を設立する場合は検討していなかった。今後そのような提案もいただきたいと考えている。</p>
田中委員	<p>行政の施策については、実行計画の事務事業編を堅実に策定することが重要と考える。ゼロシナリオを基に、計画の見直しをしてはどうか。</p> <p>また行政の施策が見える形にすることも検討してはどうか。例えば脱炭素化オフィスを目指していることを宣言するなどが考えられる。庁内の取組みを推進する施策になると考える。</p> <p>重点プロジェクト（施策）案は、事業者による実行計画というイメージを持った。すべての項目の実行計画を立てるのは難しいと想定されることから、アンケートとヒアリングを通じて実施可能性のある事業を抽出し、5年間の実行計画を作成する。そしてその計画を対象とした補助メニューを用意するというイメージである。</p> <p>現在は網羅的に案が提示されているが、実際の計画内容を精査して補助するという形になると思われる。</p>
安田委員	<p>本案をみると、ステークホルダーの設定に説得性がないと思われる。これまで収集・検討してきた情報とうまく紐づけができれば、説得性がある内容となるのではないか。</p> <p>庁内WG（環境政策推進会議担当者検討会）での検討に期待をしている。</p> <p>事業メニューについては事業者の意向があるため、各事業者との議論と交渉が必要になると思われる。</p> <p>また市民向けの施策だが、既存計画の延長線上で内容を掘り下げていくことも考えられる。いずれにせよ現在排出しているCO2量を把握しなければ、施策の妥当性は低いと思う。例えば全世帯でエネルギー家計簿をつけてもらい、自分たちの環境負荷について認識してもらいたいなどの考えはあるが、参加者が増えてきていないという印象がある。</p>
部会長	<p>他施策と齟齬がない形で、どのようなビジョンを作っていくのかをまず議論したい。その後短期間で進める施策や個別の重点施策内容を検討することが重要ではないか。</p> <p>次回部会における段取りと内容を議論できればと思う。また議論の材料となりそうな資料（事業者向けアンケートなど）を事前に送付いただきたい。</p>
吉田委員	<p>基本事項の確認であるが、事業者は市内に本店があることという意味でとらえてよいのか。バーチャルオフィスはなしということか。ちなみに上尾市ではどのような業種の事業者が多いのか。</p>
事務局	<p>市内に事業所を持つ事業者を対象としている。市内に多い業種については調査結果に記載していると思う。</p>

以上